

雑誌「山と私」の制作

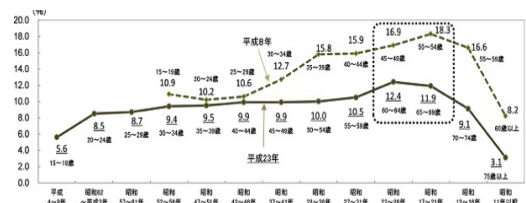
概要：山登りブームに乗って、山登りの知識や技術・魅力を、インターハイ経験者の視点から紹介する雑誌を制作。

1. 背景

2007 年頃から現在まで第 3 次登山ブームが続いている。中高年が主流であった登山に若者が注目しはじめ、2009 年から 2010 年にかけては「山ガール」といった言葉が注目を集めた。しかし、就職活動を進める上で、山登りについて様々な質問をされる機会が増え、登山をする若者は、世間的にはマイノリティな存在であると感じた。そこで、高校総体インターハイに出場した自身の経験を活かした視点から、若者に山登りの楽しさを伝え、山登りに興味を持つきっかけになれば、と思い制作に至った。

2. 目的

総務省統計局のデータ（図 1）が示す通り登山・ハイキングを行った人の割合は 45 歳～が高く、歳を重ねるにつれて、増加している。



（図 1）出生年別「登山・ハイキング」の行動者率（平成 8 年，23 年）

登山・ハイキングに縁のない世代でも親しみやすいよう「ゆるく・親しみやすく」をテーマに雑誌を制作し、山登りの面白さ、大会の存在や内容を知ってもらうこと目的としている。

3. 方法

雑誌の編集には、InDesign、画像等の編集には Photoshop というソフトを使用した。

また、本誌で使用した写真は全て自身で登った山の写真である。実際の生の声に説得力を持たせ、登山未経験の友人にも協力してもらい、また親しみを持ちやすい内容になるよう工夫した。

4. 制作過程

① 制作物のテーマを決定

当初の予定では、雑誌＋映像（VR）の予定であったが、最終的に雑誌のみに決定。

② 協力依頼

制作するにあたり自身の母校である三重県立神戸高等学校山岳部のOB・OG、大学友人に協力を依頼。

③ アイデア出し

内容の方向性を自身の経験・体験をもとにしたものを伝えようというものに決定。

④ 本のサイズやページ

気軽かつ手軽に読めるよう B5 サイズ 20～24 ページの予定。ファッション雑誌のような気軽さを出したかったので右綴じを選択。

⑤ 台割り作成

大まかにどのページにどんな内容を掲載するのかをまとめる。

R22C2			
1	2	3	4
1	タイトル		
2	前書き		
3	目次		
4	持ち物		
5	屋久島		
6	写真(見せたいものを大きく配置)		
7	写真(見せたいものを大きく配置)		
8	↓		
9	↓		
10	写真(コラ(??))		
11	写真(コラ(??))		
12	御在所 初心者におすすめ!		
13	↓		
14	写真(コラ(??))		
15	写真(コラ(??))		
16	春 写真		
17	夏 写真		
18	秋 写真		
19	冬 写真		
20	山ご飯 文字多め(?) レポート使用		
21			
22	あとがき		
23	あとがき		
24	裏表紙		

(図2) Excelを使用した台割り

⑥ デザインのラフスケッチ

レイアウトや内容について整理し、完成後のイメージが具体的になる。



(図3) ibisPaint X ソフトを使用

⑦ 画像と原稿

写真はPhotoshopで明度や切り抜き等加工をする。(図4、5)



(図4) 加工前の写真



(図5) 加工後の写真

⑧ ページデザイン

各ページのテーマに合わせたデザインを考え、InDesign でレイアウトをする。例えば図6では、ファッション雑誌の“バッグ&中の私物公開”というイメージをもとにレイアウト。



(図6) レイアウトしたページ

図7、8では、“私と旅する屋久島”というイメージをもとにレイアウト。



(図7) レイアウトしたページ



(図8) レイアウトしたページ

⑨ 全体を整える

デザインが一貫しているか、誤字脱字はないか、読みやすいレイアウトになっているか、全体を俯瞰してチェック微調整を行う。

⑩ 入稿

5. 感想

完成した作品を読んでもらい、以下のような感想を得た。

- ・ 山登り楽しそうだった！
- ・ ページごとにデザインが異なるのが、可愛くて読みやすい。
- ・ 登山してみたくなった。
- ・ デザインが普段読んでいるファッション雑誌のようで、驚いた！読みやすいように工夫がされていると感じた。
- ・ 写真が綺麗！

6. まとめ

上記の感想より、この制作の第一の目的である山登りの面白さ、大会の存在や内容を知ってもらうことは達成できたと考える。

この冊子に掲載している掲載する全ての写真は自らが登った山の記録であり、撮影・編集全て自分一人で行なった。各テーマ・ページによってデザインをこだわり、私にしか作れない唯一無二の雑誌が完成し、かなり満足のいく制作となった。

結果として、制作した作品を様々な人に読んでいただき、この冊子をきっかけに登山に興味を持ってもらい、正しい山登りの知識や技術、魅力を知り、登

山する人が増えていくことを期待する。

7. 使用ソフト

- ・ inDesign
- ・ Photoshop

8. 引用・参考文献

- 1) 総務省統計局 登山・ハイキング
を行なった人の状況（2021 年 12
月 23 日取得）

<https://www.stat.go.jp/data/shakai/topics/topi961.html>